

日本物理教育学会 ニューズレター



新理事会からのご挨拶

先日の日本物理教育学会総会で選出いただいた新しい理事会が、この一年間学会の運営に当たります。庶務を中心とする学会活動、日本物理教育学会会誌「物理教育」、ニューズレターの編集、刊行、また、適宜、メールによる連絡も行います。

運営の方針の幾つかは、評議員会や学会監事の監査報告、また、将来構想委員会のご意見も参考にして、安定した学会活動、会誌等の一層の充実などの実現に努めています。

寄せられたご意見の中に、小、中規模の学会に特有の問題が指摘されています。それは、担当者に極めて大きな負担が掛かっていることです。専門の事務機構がない学会では、避けて通れないのですが、善処するよう上の意見でも指摘されています。本ニューズレターも同様です。数人の委員の方々の献身的な努力の結果、毎号が刊行されています。有効にご活用くださいますようお願い致します。

ご指摘のもう一点は、会員数の増強により、学会活動をさらに充実することです。本学会では古くからの会員が退職後長年たつて退会されるケースが目立つ一方、幸い、若い会員の新入会も見られ、ほぼ一定の会員数を保っています。会員数を増加するために、最近増加してきた教員の採用、あるいは学生、大学院生の方々にも学会活動に参加していただきたいと考えています。会員の勧誘は個人の繋がりが容易にする面もあることから、支部の活動の一環としても会員数増強にご努力、ご協力くださることをお願いいたたく存じます。この件に関して本年の評議員会でもご議論をいただく予定です。

8月に入ると物理教育研究大会の開催です。この機会も含めて、学会活動の一層の発展のため、会員の皆様、また、多くの新入会員のご活躍に期待申し上げます。
(会長 高橋 憲明)

2014年度日本物理教育学会年会 第31回物理教育研究大会 について

今研究大会には非常に多数の発表のお申し込みを頂きましたため、これまでWEBページやニューズレター等でお知らせしていたプログラムの一部を変更いたしました。

特に、研究大会両日ともに開始時間を早めると共に、原著講演の1人あたりの時間を12分にさせていただきましたので、ご注意ください。詳細は次ページのプログラムをご覧ください。

- ※ 初日・2日目共に開始時間が早まりました。 ※
- ※ 原著講演の時間が変更 (旧)講演10分+質問5分(合計15分) ※
- ※ なりました。 (新)講演10分+質問2分(合計12分) ※

物理教育に関連する イベントカレンダー

2014年8月11日(月)・12(火)

第31回物理教育研究大会
評議員会は8月10日(日)
於 電気通信大学

2014年8月18日(月)～22日(金)

物理教育国際会議 ICPE2014
於 Cordoba, Argentina

2014年9月6日(土)

日本物理学会2014年秋季大会
市民科学講演会
於 名古屋大学東山キャンパスIB館

2014年9月7日(日)～10(水)

日本物理学会秋季大会
於 中部大学春日井キャンパス

2014年9月17日(水)～20(土)

応用物理学会秋季学術講演会
於 北海道大学札幌キャンパス

2014年10月4日(土)

第23回物理教育を考える会II
於大阪教育大学天王寺キャンパス

2014年11月15日(土)

日本物理教育学会北海道支部
第5回 中学・高校・大学をつな
ぐ「物理教育シンポジウム」
於 北海道大学 (予定)

2014年11月23日(日)

第5回高校物理の授業に役立つ基
本実験講習会in福岡

▶大会プログラム

8月11日(月)	8月12日(火)
9:00 開会	9:00～10:00 原著講演(VI)
9:15～10:15 原著講演(I)	10:05～11:05 原著講演(VII)
10:20～11:20 原著講演(II)	11:10～12:10 原著講演(VIII)
11:30～12:20 特別講演(I) 「PISA2012 国際学力調査について」 猿田祐嗣(國學院大學教授・国立教育政策 研究所名誉所員)	12:10～13:10 昼 食
12:20～13:20 昼 食	13:10～14:25 日本物理教育学会賞・日本物理 教育学会奨励賞 表彰式 及び 記念講演 「日本物理教育学会賞」笠耐(元・上智大学) 「日本物理教育学会奨励賞」 至田雅一(大阪府立東住吉高校) 本弓康之(筑波大学附属坂戸高校)
13:20～14:10・特別講演(II) 「危機・臨界体験特別実験」 米田仁紀(電通大レーザー新世代研究セン ター・センター長)	14:35～17:10 シンポジウム「物理をどう教え るか-基礎概念の定着を目指して-」 ○基調報告:山崎敏昭(同志社高校) ○高大接続の試み 箕田弘喜・香取浩子(東京農工大学) ○高校の現場から:湯口秀敏(川口北高等学 校)・石井登志夫(与野高等学校) ○討論(16:10～)
14:10～15:00 ポスターセッション	17:10 閉 会
15:05～16:05 原著講演(III)	
16:10～17:10 原著講演(IV)	
17:15～18:15 原著講演(V)	
18:30～20:00 懇親会	

▶事前申込されていない方も、当日参加が可能です。

▶事務連絡・問い合わせ先

[pesj2014\(at\)g-edu.uec.ac.jp](mailto:pesj2014(at)g-edu.uec.ac.jp) ((at)は@で置き換えてください)

高田 亨(電気通信大学 TEL 042(443)5562 FAX 042(443)5563)

〒182-8585 東京都調布市調布が丘1-5-1 電気通信大学共通教育部物理事務 気付

▶大会ウェブサイト:

<http://pesj2014.g-edu.uec.ac.jp>

「物理教育」編集日程のお知らせ

学会誌「物理教育」の今年度の編集日程が決まりました。各号の投稿締め切り日は以下の通りとなりますので、ご確認の上ご投稿ください。

▶62-4号:9月4日 ▶63-1号:12月10日

▶63-2号:3月4日 ▶63-3号:6月4日

第7回高校物理の授業に役立つ基本実験 講習会の報告

本学会等が共催(主催:物理教育研究会(APEJ),日本物理学会)する標記の実験講習会が、7月20・21日の両日、東京の麻布中学高校を会場に開催されました。47名の受講者が参加し、10種の実験をインストラクターとともに、実際の授業の場面を想定するなどして議論しながら行いました。



さまざまな地域の高校の物理教員研究組織と連携して、2010年の福岡、2011年から新潟と札幌、2012年から大阪、2013年からは仙台と、同主旨の講習会が各地域で継続的に開催されていますが、その原点である東京開催は2008年から7回目を迎えました。その間にかつての受講者がインストラクターとなったり、実験にも工夫が加えられたりと発展しつつあります。今回は新採用教員や女性教員の受講が目立ち、一層新鮮な雰囲気となりました。

九州支部からのお知らせ

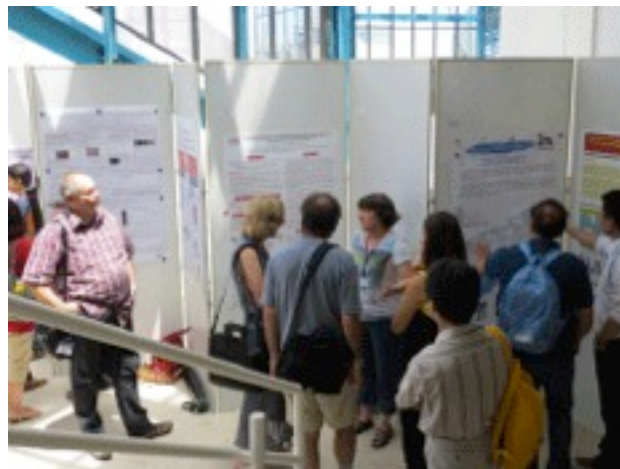
九州支部では、11月23日(日)に「第5回高校物理の授業に役立つ基本実験講習会in福岡」を高校物理部会等と共同で開催します。詳細は後日お知らせいたします。

また、9月からは月に1度の物理教育研究会を支部の研究会として位置づけようということになりました。今後も少しずつ活動を充実させていこうと計画しています。

GIREP-MPTL2014 参加報告

物理教育の国際会議GIREP-MPTL 2014が、7月7日から12日にイタリア・シチリア島のパレルモ大学で開催されました。Plenary programが11件、Oral presentationが130件、Poster presentationが68件、Symposiumが11件(招待7件)、Workshopが

15件(招待6件)という大規模な会合でした(私のカウントに間違いがなければ...)。



GIREP-MPTL2014 ポスター発表の様子

Book of Abstractsは350ページ程で、2011年にフィンランドで開催されたGIREP-EPEC 2011の倍以上の厚さです。日本からの参加者は私と新田英雄氏(東京学芸大)だけでしたが、明るいシシリーで各国の参加者と旧交を暖めることができました。

Plenary programは、peer instructionsのEric Mazur教授、物理教育の偉人(legend)と紹介されていたLillian C. McDermott教授の講演をはじめとして、ボリューム満点のイタリア料理を思わせる充実した内容でした。詳細な参加報告を会誌『物理教育』に投稿しようと考えています。(大野栄三)

『科学をどう教えるか—アメリカにおける新しい物理教育の実践—』

「衝撃的な内容！」(「物理教育」62-2, p.89)

E.F.Redish著・日本物理教育学会監訳「科学をどう教えるか—アメリカにおける新しい物理教育の実践—」(丸善出版)が、大変好評を得て発売されています。詳細は、下記サイトをご覧ください。

http://pesj.jp/doc/per_book2013.pdf

物理教育研究メーリングリスト(ML)が設定されています

この物理教育研究MLは、本会正会員(学生会員を含む)であればどなたでも参加できます。

参加を希望する会員は、subject欄に「per-ml参加申し込み」、本文として、日本物理教育学会会員番号と氏名を記載したe-mailを、MLへの投稿に使用するメールアドレスから以下のアドレス宛てに送付してください。

[per-ml-adm \(at\) pesj.jp](mailto:per-ml-adm@pesj.jp) ただし、(at)は@で置き換えて下さい。

また、このMLの詳細については次のウェブサイトを参照してください。

http://pesj.jp/research/ml_per

[事務局より] ニュースレターで広報したい行事などありましたら、8月20日までに [news\(at\)pesj.jp](mailto:news@pesj.jp) ((at)は@で置き換えてください)へご連絡ください。編集委員会で掲載の適否を審議し、記述を編集いたします。

発行：日本物理教育学会会長 高橋憲明

編集：日本物理教育学会ニュースレター編集委員会

発行日：2014年8月7日